

「ふつう」ってなあに？

# メルヘンと遊びの西周年世界展

わくわくするのはいつだって、知っていることより知らないこと。

メルヘンの世界はいろんな世界。

どきどきわくわく楽しい世界。

「あそび」、「冒険」、「おはなし」いっぱいの世界。

メルヘンの世界で宝物を見つけよう。

さあ、でかけよう。メルヘンと遊びの世界へ。

「メルヘンと遊びの世界展」は平成8年以降絵本原画展を中心に行われていました。第17回より市内NPO法人3団体と高崎市協力の下に子どもたちがよりいっそうどきどきわくわくする企画を行っています。今回で記念すべき25回目の開催となりました。

9.18日 高崎シティギャラリー  
コアホール



手話



要約筆記

障がいの有無にかかわらず、  
みんなに楽しんでもらえるよう、  
手話通訳、要約筆記を行います。

午前の部

メルヘン子ども寄席 10:00開場 10:30開演

子どもも大人も楽しめます♪

さア、さア、みなさん寄っといで！楽しい寄席の始まりでい！！  
断家の柳家小もんさんはご当地群馬の出身でさア。  
江戸太神楽（曲芸）もあわせて、楽しみにしといておくれよ！

入場料 1,000円（大人も子どもも同額）  
全席自由席

申込み方法 申込みフォーム 8.1（月）10:00～



午後の部

講演会 13:30開場 14:00開演 入場無料

「こども・絵本・おかあさん」

点字つき絵本の出版と普及を考える会 20周年記念

一見える人も見えない人も親子で絵本を楽しむために一

おはなし…

岩田美津子（てんやく絵本を30年前から手作りしたお母さん）

見えない母として、見える我が子と絵本を楽しみたいと、てんやく絵本を考案。その後、大阪で「てんやく絵本 ふれあい文庫」を立ち上げ、全国の同じ立場の人たちへの貸出活動に取り組む。国内初の点字つき絵本「チョキチョキ チョッキン」の出版をきっかけに、点字つき絵本の普及にも力を入れている。（てんやく絵本ふれあい文庫代表、点字つき絵本の出版と普及を考える会）

関谷裕子（岩田さんと一緒に協力して絵本を出版する編集者）

こくま社の編集者として、『チョキチョキ チョッキン』の出版を機に岩田氏と出会い、見えても見えなくても子どもとの生活には絵本が欠かせないことを再認識する。42年間の絵本編集者の仕事を昨年夏で卒業。娘たちには、ご飯と本を読むことしかできなかったことを振り返りつつも、その楽しみをこれから子育てする人に伝えたいと願う。（元こくま社編集者、点字つき絵本の出版と普及を考える会）



\*企画内容が一部変更となる場合があります。

「ふつう」ってなあに？ 関連展示しています。

群馬県立図書館 高崎市立中央図書館など 伊勢崎市図書館 上野村図書館 太田市美術館・図書館 邑楽町図書館 甘楽町図書館ら・かんら 渋川市立図書館 玉村町立図書館 富岡市立図書館 藤岡市立図書館 前橋こども図書館 みどり市立大問々図書館 みどり市立笠懸図書館 吉岡町図書館 山田文庫 育英大学・育英短期大学図書館 群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 高崎健康福祉大学図書館分館

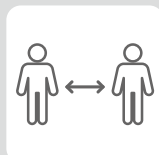
● 新型コロナウイルス感染症拡大防止につとめ、イベントを開催いたします。ご協力をお願い申し上げます。



マスク着用をお願いします



手指の消毒をお願いします



距離を保ってください



館内の消毒を行っています



換気を行っています



混雑時、入場制限を行っています